

しまんと

発行：四万十町教育研究所

第109号（通し番号）

令和7年1月31日 発行

能登の大地震、羽田での航空機事故と波乱の幕開けのような2024年から1年。復興はまだまだ遠い状況だとメディアでは報告されています。押しつぶされた家や車もあの時のままの現状。また、その後の豪雨災害。突然、いつもの日常が奪われ、家族まで奪われるといった悲劇に、能登の人たちは耐えながら、前を向き新たにスタートしている様子も目にします。できるだけ早い復興と自然災害がないことを祈った2025年の幕開けです。

さて、厳しい寒さの3学期が始まりました。学年の締めくくりはあっという間に訪れるものですね。朝の寒さは身体の動きを著しく衰えさせ、特に年齢を重ねている我々にとっては、顕著に出ますが、今は若くてもその様子が無きにしも非ず、のようで、欠席が増えています。先日始業式の欠席状況について、情報共有する機会がありました。インフルエンザ、コロナの流行もあり、いつもより、欠席者が小中共に多かったのですが、事故欠、家庭の事情、本人の事情等の欠席が多く、不登校や不登校傾向の児童生徒については全国的にも危機的状況と言えます。

本町の欠席状況（R6.12月）

	不登校（傾向） 20日以上	不登校（傾向）のうち新規数	その他（事故欠・自己都合） 1/8始業式
小学校	15人	4人	6人
中学校	9人	4人	4人

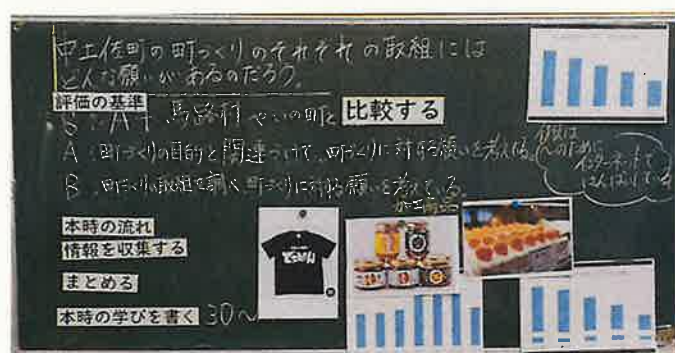
「学校に行きたいけど、行けない」葛藤型の不登校が多かった以前に比べると、子どもを取り巻く環境の変化から不登校のタイプも多種多様になっています。コロナ渦の3年間でさらに加速し、「わかりづらい不登校」が増え、対応や支援の仕方が難しくなっているという見方があります。そこで、はまゆう教育相談所の「不登校の予防と支援のためのハンドブック」より不登校のタイプについてあげてみたいと思います。

- ① 福祉的対応の必要なタイプ（家庭要因）家庭環境の変化、経済的環境、養育上の課題、ヤングケアラー、虐待などの要因の場合の対応はケースワーカー、福祉事務所、児童相談所と連携した取り組みが必要。
- ② 教育的対応の必要なタイプ（学校要因）いじめ、友人関係、先生との関係、学級集団、部活動など学校生活に起因する場合の対応は、学校、教職員、関係機関（SSW）、スクールカウンセラーが連携して、安心・安全で満足度の高い学校づくり」をすることが大切。
- ③ 心理的対応の必要なタイプ（発達・特性要因）環境や対人関係に過敏で、学校生活を送るうえでの不安や緊張が高くなるタイプ、発達障害（ADHD、LD、ASD等）などの子どもたちが環境との折り合いが悪くなり、二次障害として学校に行きづらくなる場合の対応は心理的ケアや発達検査を行い、場合によっては医療的なサポートが必要。

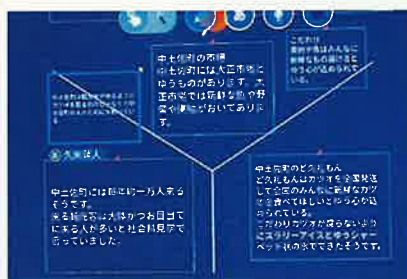
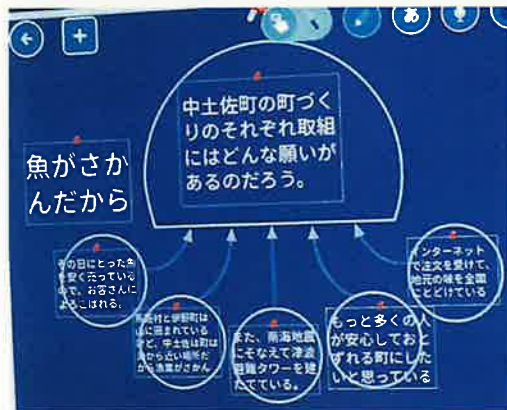
タイプに分けていても重なり合う場合がほとんどで医療や学校・家庭の環境調整などの支援が必要だと考えられます。この支援ハンドブックには事例とともに不登校について様々な文献を参考に分析したことが書かれています。もし、参考にしたい方がいましたら、研究所までお申し出ください。さまざまな不登校要因がありますが、まず「見立て」を行い、未然防止へとつなげていくことが大切ではないでしょうか。環境の調整などについてはぜひ、研究所にご相談ください。

教育 DX 高知市昭和小

11月27日に高知市立昭和小学校で開催された教育 DX 研修に参加してきました。4年生社会科の授業で、「中土佐町の町づくりのそれぞれの取組にはどんな願いがあるのだろう。」という学習課題に取り組んでいました。本時の評価と学習の手順が提示された後、児童が副読本（高知のくらし）から情報を収集し、一人一人が自分で選んだシンキングツールに整理してっていました。途中参照できるようにロイロノートの共有ノートが使用されていました。児童は以前同じ流れで馬路村の学習をしていたということもあり、全員が何をするかが分かっており、学習を進めていました。ただ授業者からは「子どもたちは取組を整理することに精一杯で、本時の課題であった『願い』まで行きつかなかった子がいた」という振り返りや、講師（中京大教授 泰山裕先生）からは「情報収集のためのスキルを身につけているかが重要」「今日の課題に合ったシンキングツールを使えていたかということも重要」という話がありました。教科書の文をそのまま丸写ししている児童もいましたが、本時では「どんな願いがあるのだろう」という課題に必要な情報を集めることができるか？ということが重要であり、子どもに教科書の文章や資料に線を引いたり印をつけたりしながら必要な情報を抜き出すことのできる力をつけていくことが大切だと学びました。



イベント	登場の人の話	まとめ
中土佐町では、カツオ祭りというイベントがあります。（一本釣り競争というものです。）多分だけ人口が増やすためにやっている。（いの町と馬路村と取組が同じ）	南海地震に備えて津波対策タワーを建てました。もっと多くの人が安心して暮らせる町にしたいです。と書いています。中土佐町では、住みかさんと話し合っていて元気で安心して暮らせる町づくりを進めています。	まとめ 中土佐町では、人口を増やすことも地味にイベントやネット販売をしている（願いは、人口を増やすため！）
	ネット販売で色々売っている。インターネットで注文を受けて地元の味を全国に届けているそうです。（馬路村と同じ） 中土佐町には毎年約一万八千人来るといいます。大抵の人がお土産で来ています。（お土産屋さんで買っています）	人口を増やすためにやっている



学習者用デジタル教科書を活用した授業実践

本年度も、5年算数「面積の求め方を考えよう」の単元で、学習者用デジタル教科書を活用した授業を行いました。昨年度実践をしてみて、デジタル教科書を使って考えたことがノートに残らないという課題があったため、昨年度はデジタル教科書を使って考えたことを紙のワークシートに書いて残していくようにしていましたが、今回はスクリーンショットしてスプレッドシートに残していくようにしました。スプレッドシートが固まって動かなくなったり、こちらが作成しているスプレッドシートの列を見子が消えてしまったりするトラブルもありましたが、「シートを保護する」という機能を使うなど、できることは対応していきました。児童はスクリーンショットしたものをスプレッドシートに挿入することもすぐできるようになり、必要な時に他者参照しながら学習を進めることができました。教師側もスプレッドシートを活用したことで、児童一人一人の学習の状況を把握することができ、支援が必要な児童に個別指導したり、全体学びの際に意図的指名を行ったりすることができました。

◇12月9日のノート

名前	見直し	考え方①	考え方②	考え方③	まとめ	ふり返り	文字数
でまそ					まとめ：三角形の面積を求めるには、まず平行四辺形にしてその公式を使うと出来る。(長方形にも出来る)	三角形の面積を求める時は平行四辺形にして求めることは分かった。特筆した平行四辺形の公式を覚えておくといいかもわかった。また長方形にも出来る！	71
でまそ					三角形の面積は、長方形と、平行四辺形にするとも求まる。	結局はどうやってやるかわかんなかったけど公式を使ったらできた	30
でまそ					まとめ：三角形の面積を求めるには、平行四辺形の公式を使って2したら分かった。	さんがく求む方は、長方形平行四辺形にして考えた方がいい。三角形の面積の求め方は多边形x高さ÷2だとわかった。	
でまそ					三角形も平行四辺形のやり方で求めて考えたらしい。	三角形の面積を求めたやり方で求められた。	
でまそ					まとめ：三角形の面積は平行四辺形の形に切ったり動かしたりして三角形の面積は求められた。やり方、これで三角		



【個別で】

◇12月11日のノート

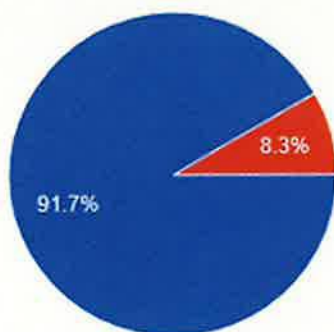
名前	見直し	考え方①	考え方②	考え方③	まとめ	ふり返り	# 文字数
でまそ					三角形の面積の求め方は平行四辺形にしたり長方形にしたりして「コピーして」求められた。	今日は三角形の面積を求めて三角形や平行四辺形(公式を分かってる)とわかった。その分かってる公式の「高さ」を2でやれるとも分かった。前やったようにコピーしてたりも出来る。(難しいけど)三角形はどちらか一方の辺が平行だとわかった。図は三角形の公式	138
でまそ					三角形の面積は底辺x高さ÷2をしたらいい。	三角形も平行四辺形の面積と三角形の面積でやったら出来る	
でまそ					まとめ：三角形の面積は、底辺x高さ÷2をしたら求められる。	今日は、三角形で今まで習ってきた公式使った簡単に出来る。	
でまそ					三角形は長方形や平行四辺形にすると面積が求められる。	三角形も三角形と同じように底辺x高さ÷2で出来る。長方形や平行四辺形にすると出来る。今までやってきた図形は平行四辺形や長方形にすると求められるとわかった。	
でまそ					三角形の面積は平行四辺形にしたり長方形の形にしたりすると面積が求められる。	今日わかったことは、三角形の求め方は底辺x高さ÷2をしたら切った方がわかった。三角形も三角形などと同じ	49
でまそ					三角形の面積は三角形や平行四辺形、長方形や長方形にしたら	今日の学習で三角形の面積の求め方がわかった。三角形も三角形などと同じ	47



【必要に応じて
友だちと】

◇授業後に行ったアンケートの結果より

新しい図形の面積の求め方を考えるとき、デジタル教科書を使うのと紙の教科書やノートを使うのではどちらが考えやすかったですか。



- デジタル教科書の方が考えやすかった。
- 紙の教科書やノートの方が考えやすかった。
- どちらでも変わらなかった。

「デジタル教科書の方が考えやすかった」理由は、「図形が動かせるから」「切ったりできて想像しやすかったから」「動かしたりコピーしたりできるから考えやすかった」

スプレッドシートにある友だちの考え(スクリーンショットしたもの)をどんな時に見ましたか。

みんなで見るとき

自分の考えと違うとき

どう考えたらいいかわからないとき

自分の考えが無くってわからなかったとき。

自分の考えで困っているとき

自分が書いていない意見があるかなと思ったとき

自分の考えが終わって皆の考えを見たいとき。

自分がやってないやり方がないかを探るとき

みんながどんな考えをしているかを見たかったとき

教育研究所秋季連絡協議会に参加して

11月29日に教育研究所秋季連絡協議会「いの町大会」があり、会場校であった伊野小学校では、全学年全学級でICTを活用した授業公開をしていただきました。低学年の児童もタブレットを使い慣れており、友だちと交流しながら意欲的に学習している姿が印象的でした。4つの学年の授業を簡単に紹介します。

1年生

国語「まとめてよぶことば」

ロイロノートのシンキングツール（クラゲチャート）を使って友だちと話し合いながら「ことばずかん」を作っていました。タイピング入力をしたがっている児童がいましたが、先生から「（時間がかかるから）手書きでもいいよ」という声掛けがありました。



2年生

国語「おかし話をしようかいしよう～かさこじぞう～」

ロイロノートで送られた教科書の挿絵を見て想像したことや気づいたことを書き込んでいました。



5年生

算数「四角形と三角形の面積」

平行四辺形の面積の求め方を考える授業で、ロイロノートに送られた平行四辺形の画像に自由に書き込み、長方形に形を変えて面積を求めていました。自由な活動形態で、友だちに教えたり説明し合ったりしながら進められていました。



6年生

算数「並べ方と組み合わせ方」

4人のリレーのチームを作るとき、走る順序は何種類あるかを調べる問題で、タブレット上で並べかえの操作ができるようになっていたので、それを使って考えている児童がたくさんいました。

